

平成31年度広島市立広島特別支援学校 学校経営計画

児童生徒の自立と社会参加を目指し、一人一人の力を伸ばして、主体性をもって豊かに生きる人間を育てる。

- <学部目標> 訪問学級・生きる力を育てる。  
 小学部：教師や友達と一緒に生活する楽しさを感じ取り、自分から進んでものごとに取り組み育てる。  
 中学部：主体的に生活する力を育てる。  
 高等部：豊かに生活できる力を付ける。

目指す学校像（ビジョン）

- 家庭や地域社会から信頼され、本市の特別支援教育のセンターとしての役割を果たす学校  
 ・ 児童生徒が自立と社会参加を目指す学校  
 ・ 児童生徒が生き生きと活動する教育環境が整った学校  
 ・ 専門性を高め合い、弛まぬ教育実践を行う学校  
 ・ 地域社会に開かれた学校

領域	中期経営目標	NO	短期経営目標	具体的方策	成果指標
学力の向上・豊かな人間性の育成	関係法令・学習指導要領等に準拠し、一人一人の児童生徒の確かな成長・発達を期して計画的な指導を展開し、心身ともに健やかでたくましい児童生徒を育てる。	1	自立と社会参加を目指し、児童生徒の「深い学び」につながる授業づくりを行う。	【研究部】 ・理論的な研修会を行う。 ・学部ごとに特色ある研修会を行い、授業づくりの実践交流を行う。 ・全校での実践の交流、取組の共有化を図るため、ポスターセッションを行う。 ・児童生徒の思考場面を取り入れた授業づくりを行い、授業づくりシートを活用し授業改善を図る。	・全体研修会を2回以上行う。 ・特色ある学部研修会を4回以上行う。 ・ポスターセッションを2回以上行う。 ・各学級で、授業作りシートを1枚作成する。
		2	12年間を見通したカリキュラムの構築を目指し、学部間の学習指導の体系化・系統化を年次計画で行う。	【教務部】 ・1年次>学部間で学習指導内容の検討や調整を行い、系統・系列化された単元・年間指導計画を作成する。 ・2年次>学習指導内容にあった使用教科書について検討を行い、学部間で調整を図り、決定する。 ・3年次>系統・系列化された単元・年間指導計画を各学部で実施し、教科・領域ごとに学習内容の修正を行う。	・学部間で学習指導内容の検討会を2回以上行う。
		3	児童生徒の健康の促進と望ましい生活習慣（歯磨き）の確立を図る。	【保健指導部】 ・昨年度の歯科保健の取組を継続し、必要に応じて取組内容を修正しながら、歯科検診結果（歯垢・歯肉の状況等）の向上を目指す。	<歯科検診データ> ・秋の歯科検診結果「歯垢」「歯肉」が春の歯科検診結果よりも3%の改善を目指す。
		4	卒業後の豊かな生活を目指し、個別のニーズに応じた進路指導を行う。	【進路指導部】 ・目標を明確にし、学部や学年で系統立てた学習を行う。 ・学年や類型、個々の実態に応じた進路学習を計画、実施する。 ・生徒実態を把握し、本人保護者のニーズに応じた職場実習先を設定し実習を実施する。	・就職率40%を目指す。 ・100%の進路保障を目指す。 ・100%の職場実習実施を目指す。
専門性の向上	教職員一人一人が専門性を発揮し、児童生徒の障害実態や発達課題、疾病等への配慮事項に即した指導方法を習得し、授業の質的改善を図る。	5	ICTの活用（視聴覚教育、放送教育）を推進し、教材や指導法等の専門的知識を高め、積極的な活用を目指す。	【情報教育部】 ・校内外の視聴覚機器の活用事例を収集し、研修などで紹介しながら校内での視聴覚機器の活用を推進していく。また、授業実践へつながる研修を長期休業中に行う。	・視聴覚機器の活用事例の研修会を2回以上行う。 ・授業実践へつながる研修会を5回以上行う。
		6	各学部で課題を設定し、学協会や学部研修会等を活用して、発達課題・障害特性等の理解や指導方法についての研修を深め、授業改善を目指す。 <b>児童生徒の実態を共有し、適切な指導と必要な支援について協議し、迅速な理解を図り、実践的指導力を高める。</b>	【小学部】 ・児童の見取りについて、基本的な考え方の事例研修会を行う。 ・学年内で授業を公開し、授業交流を行う。 ・ <b>各学級で授業の振り返りを行い、学年会や学部会で、児童の情報交流を行う。</b>  【中学部】 ・情緒が不安定な生徒の対応について、ケーススタディを行い、有効な指導方法の共有化を図る。 ・各教科・領域の実践交流を行い、指導技術の向上を図る。 ・ <b>各学級で授業の振り返りを行い、学年会や学部会で、生徒の情報交流を行う。</b>  【高等部】 ・生徒の障害特性の理解、指導力向上を図るため、学部会で研修会を行う。 ・学年会・類型会では、生徒への指導方法・取組方法などについての悩みを相談しやすい雰囲気をつくり、生徒についての情報交換と具体的な取組についての検討を行う。 ・学部内で授業を公開し、授業改善について交流を行う。 ・ <b>各学級で授業の振り返りを行い、学年会や学部会で、生徒の情報交流を行う。</b>	・学部会で、事例研修会を2事例以上行う。 ・学年内で授業を公開し、一人一回以上参照する。 ・各学級で授業の振り返りを毎日行う。 ・学年会や学部会で、授業の情報共有を毎回行う。  ・学部会で、ケーススタディを2事例以上行う。 ・学部会で各教科・領域の実践交流を2回以上行う。 ・各学級で授業の振り返りを毎日行う。 ・学年会や学部会で、授業の情報共有を毎回行う。  ・学部会で、研修会を各学期に1回以上行う。 ・学年会・類型会で、生徒についての情報交換を毎回行う。 ・学部内で授業を公開し、一人二回以上参照する。 ・各学級で授業の振り返りを毎日行う。 ・学年会や学部会で、授業の情報共有を毎回行う。
		7	教育環境整備の充実と備品管理の徹底を図る。	【事務部】 ・備品点検を実施し、備品の管理を徹底する。 ・廃棄済みの備品を、大型ごみ等で計画的に処分する。 【各学部・領域】 ・備品点検等の機会を捉えて、各倉庫の清掃及び整理を行う。	・備品点検を3回実施する。 ・大型ゴミ等の処理を計画的に3回行う。 ・各倉庫の清掃及び整理を各学期に1回以上行う。
教育環境の整備	安全でかつ清潔で児童生徒が主体的に活動できる整った教育環境づくりを行う。	8	校舎内外の美化に努め、教育環境を整える。	【生徒指導部】 ・学期末に物品整理を含めた清掃を行う。 ・学校周辺清掃に取り組む。	・特別教室の大掃除を年2回、教室の大掃除を各学期に1回行う。 ・学校周辺清掃を年に2回行う。
		9	<b>いじめの未然防止、早期発見に努め、いじめへの適切な対応を行う。</b>	【生徒指導部】 ・ <b>学生会で児童生徒の情報共有を図り、いじめの早期発見に努める。発見された事案については、「学校いじめ防止委員会」に報告し、対応を協議し、迅速に解決を図る。</b>	・学年会で、児童生徒の情報交換を、毎週行う。
		10	児童生徒の読書意欲を高め、児童生徒用図書書の充実を図るなど読書活動の推進を図る。	【総務部】 ・中央図書館との連携を図り、児童・生徒の読書意欲が高まる取組（絵本の読み聞かせ・アニメ映像上映会等）を継続して行う。	・ともとは号の来校にともない、読書意欲が高まる取組を8回行う。
		11	児童生徒が見通しをもち、自ら進んで主体的に活動できるような環境づくりを行う。	【小学部】 ・教室の構造化と教材教具についての実践交流を学部会等で行う。 ・物理的・人的支援環境づくりに努め、かかわり合いに視点を置いた授業改善を行う。  【中学部】 ・ICTの活用等、教材・教具についての実践交流を学部会等で行う。 ・個の実態に応じた、物理的・人的支援環境づくりを行い、授業改善を図っていく。  【高等部】 ・生徒の実態に応じた物理的な構造化や視覚支援ツールを活用した教室環境づくりを行い、生徒が主体的に活動できる環境を整備する。 ・構造化や視覚支援ツールに関する交流や研修を学年会、学部会で行う。 ・環境づくりについてのテーマを決め、学部全体で意識を共有して取り組む。	・学部会で、教材教具等の実践交流を3回行う。  ・学部会で、教材教具等の実践交流を3回行う。  ・学部会で、支援ツール等の実践交流を3回行う。 ・環境づくりをテーマにした取組を毎月行う。
新たな学校づくりの推進	「地域に開かれた学校」「特別支援教育のセンター的機能を発揮する学校」その学校づくりを構想し、具体化を図る。	12	小・中・高等学校の教員への支援についての具体的取組を計画・実施し、その充実を図る。	【地域支援部】 ・地域の幼・小・中・高等学校の教員からのニーズの高い研修を部内で企画し運営する。	・受講者の8割以上から参考になったという評価を得る。
		13	新たな学校（高等部）の教育課程を作成する。	【教務部】 ・教育課程における各教科・領域等の、系統立てた指導目標や大まかな指導内容を作成する。	・成果物
		14	「地域に開かれた学校づくり」を目指し、学習の充実を図る。	【学部】 ・校外での作品展等に積極的に応募する（小学部）。 ・学校周辺の地域資源を活用した交流的な活動を取り入れた学習を行う（中学部）。 ・校外販売、地域清掃、校外学習、地域交流会、人材活用等生徒の実態に応じて地域や環境の良さを生かした学習活動や行事を設定する（高等部）。	・作品展等に2回以上出品する。 ・地域資源を活用した校外学習を2回以上行う。 ・地域や環境の良さを生かした学習活動を2回以上行う。
		15	業務改善を行い、超過勤務の削減を図る。	週1回水曜日の定時退校の徹底を図る。	・定時退校日の19時以降に残る教職員の数を1割以下にする。